

洪水・土砂災害ハザードマップについて

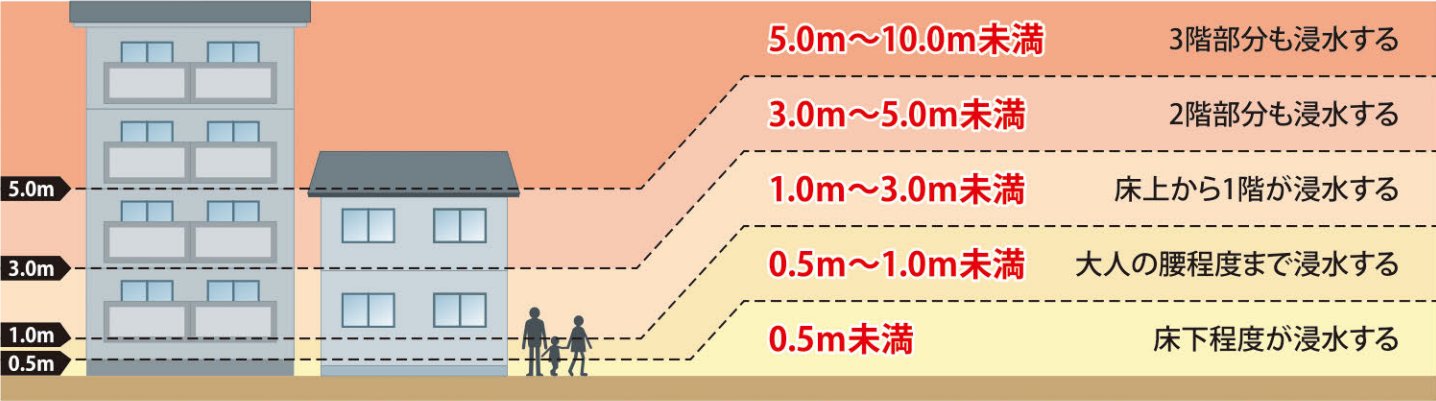
- この洪水・土砂災害ハザードマップ等に示す浸水想定区域は、国および県が見直しを行った浸水想定区域図の結果に基づいています。
- 浸水想定区域は、国が見直しを行った野洲川下流と、県が見直しを行った野洲川上流、日野川および琵琶湖のほか、中小河川等も考慮した地先の安全度マップの結果を反映しており、それぞれの解析は以下の想定規模で実施されています。

① 洪水・土砂災害ハザードマップ →3ページ～16ページ 100年に1回程度発生するおそれのある降雨に基づく解析 (琵琶湖は200年に1回程度)	●野洲川 24時間総雨量350mm ●日野川 24時間総雨量228.7mm ●琵琶湖 琵琶湖高水位B.S.L.+1.4m ●地先の安全度マップ 24時間総雨量529mm
② 洪水ハザードマップ(想定最大規模) →17ページ～22ページ 学術的に想定し得る最大規模の降雨に基づく解析	●野洲川 24時間総雨量663mm ●日野川 24時間総雨量738mm ●琵琶湖 120時間総雨量555mm (琵琶湖ピーク水位B.S.L.+2.6m)
③ 地先の安全度マップ(200年降雨確率) →23ページ～24ページ	 24時間総雨量634mm

この洪水・土砂災害ハザードマップでは、各河川の浸水想定区域と地先の安全度マップの解析結果を重ね合わせて、最も深くなる浸水深を、右ページに示す学区単位で3ページから16ページに示しています。また、想定最大規模の浸水想定区域を河川毎に17ページから22ページに市全域で示しています。23・24ページには、200年に1回程度の降雨があった場合の地先の安全度マップを掲載しています。

浸水深の目安

浸水深マップで色分けされた、浸水の深さの目安です。



土砂災害(特別)警戒区域

- 土砂災害警戒区域
土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域です。
- 土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。
→3ページ～12ページ

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域は河川の氾濫や河岸侵食により、家屋の倒壊・流失等の危険性がある区域の目安を示すものです。この区域は早期の立ち退き避難(水平避難)が必要となります。 →17ページ～20ページ
- 氾濫流 河川からあふれ出た水の流れにより、家屋が倒壊・流失するおそれがある範囲です。
 - 河岸侵食 増水した河川の激しい流れによって河岸が削られることにより、家屋が倒壊・流失するおそれがある範囲です。

洪水・土砂災害ハザードマップ索引図

